



令和3年度始業にあたって

花は盛りに、月は隈なきをのみ見るものかは。雨に向かひて月を恋ひ、垂れ籠めて春の行方知らぬも、なほあはれに情け深し。咲きぬべきほどの梢、散りしをれたる庭などこそ見どころ多けれ。

(口語訳)

「花は満開のときだけを、月は雲りがないのだけを見るものであろうか、いやそうではない。降っている雨に向かって（見えない）月のことを慕い、すだれを垂らして室内にこもり春が移り行くのを知らずにいるのも、やはりしみじみとして情趣が深い。今にも咲きそうな梢、花が散ってしおれている庭などにこそ見るべき価値がたくさんある。」

吉田兼好の「徒然草」の一節です。

いつもより少し早い桜は、もう満開をすぎ、散り始めています。

昨日、学校に向かう鳥屋野湖畔の道は、一面、桜のはなびらで埋め尽くされ、桜色に道になっていました。そんなとき、冒頭の一節が思い出されました。

人は、言葉で思考し、言葉で意味づけ、記憶する生き物です。

優れた文章や詩歌に触れ、美しい言葉をためていくことはその人の人生を必ず豊かにしてくれると思います。

さて、春、桜の季節に、必ず思い出す文章があります。

それは、詩人の大岡信さんの「言葉の力」という随筆です。

人間国宝である染色家の志村ふくみさんのもとを訪れたとき、彼は息をのむほど美しい桜色の糸で織られた着物を目にします。

この美しい色は、どうやって出すのですか？と尋ねると「桜からとるのです」という。大岡さんは、「ああ、あの美しい桜の花びらからこの色がとれるのか」と思いましたが、実は、この美しい桜いろは、あのごつごつした桜の木の皮を煮つめてとるのだと教えてもらいます。そのとき、大岡さんは、木全体の生命の躍動が、春という季節に美しい花びらの色として結実するのだと感動します。そして、私たちが日々使っている言葉も、これと同じで、一つ一つの言葉は、その人

全体の生き方や在り方の表れなのだと気づきます。

春休み、みなさんは、何をしていましたか？ 明日から始まる課題考査に向けて勉強していた、というのは当然でしょう。そうでなくては困ります。しかし、それだけだったというのも淋しいものです。

今年の春休み、ずいぶんたくさんの生徒のみなさんと話をしたように思います。

3月27日28日行われた「わくわくエンジン EXPO」では、生徒会のメンバーが高志中等教育学校の良さ、取組を全国に発信してくれました。また、体育祭準備委員のみなさんは、コロナ禍においても、最高の体育祭を実施したいと知恵を絞って、その土台づくりを進めています。SDGsに関する生徒会リーダーのみなさんの研修会、ワークショップなども行われ、今までにない積極的な生徒会活動が展開されています。また、自分の目指す大学についての情報を集めたり、進路実現に向けて何をすべきかという相談もありました。Classiの学習記録を見ると、一日13時間以上学習を進めている人もいます。学習だけではなく、自分の習い事や様々な活動に有意義な時間を過ごしている姿もありました。

テストの結果も含め、体育祭などの行事、生徒総会や新入生歓迎会などの見える活動場面の背後には、たくさんの取組や努力があります。そうした表面には表れないところでのたくさんのものが美しい成果として実を結ぶのです。

言葉は、自然にわいてくるものではないと思います。人と出会い、対話する中で生まれてきたり、よい本や映画、優れた美術作品などと出会う感動が言葉呼び起こしたり、そうやって美しい言葉が生まれてきます。そして、その美しい言葉が、あなたという人間を形作っていきます。

令和三年度のスタートです。新学期、新しい仲間や先生方、私たちの学校を支え、協力してくれるたくさんの人たちとの出会いの中で、また、授業や生徒会活動、行事など様々な活動の場面で、たくさんの美しい言葉を紡ぎだし、よりよい自分を形づくってほしいと思います。そして、そんな高志中等生が、高志中等教育学校の新たな伝統を、美しく誇れる学校を築いてくれることを期待しています。

生徒の送迎について

保護者の皆様が生徒を自動車にて特別な事情により送迎される場合は、以下の3点を守っていただき、安全で事故のないよう、さらに近隣の住民の皆様にご迷惑にならないようご協力ください。

- ①生徒の乗降については第二体育館脇の駐車場のみとします。
- ②正面玄関や校地内の進入はおやめください。
- ③校舎周辺での路上駐停車はおやめください。

なお第二体育館脇の駐車場での乗降については、左側は狭いので右折のみとします。道路からの出入口が一か所しかないため、出入口付近で乗降される方がいらっしゃると駐車場内での事故や道路での渋滞が懸念されるため、右折して奥の方で乗降してください。



※駐車場では本校職員の自家用車が駐車のため後進いたします。職員にも注意を喚起しておりますが、保護者の皆様にも気を付けて乗降にご協力いただきますようお願い申し上げます。このことにつきましては、保護者様だけでなく、送迎されるご家族にもお伝えいただき事故防止に努めていただくようお願いいたします。